●国際競争力強化地域（平成23年～27年度）

ライフサイエンス

次世代産業の核となるスーパーモジュール供給拠点（長野県全域）

研究シーズ志向と市場ニーズ志向の産学官連携システムによる両輪駆動・相乗効果型のイノベーション創出

総合調整機関
公益財団法人　長野県テクノ財団
〒380-0928
長野県長野市若里1－18－1
TEL026-226-8101

参画機関（太字はプログラム実施機関）
産…長野県経営者協会
学…**信州大学**
官…長野県
金…八十二銀行

プロジェクトディレクター
小泉　博司

略歴：長野県職員として37年間商工労働行政一筋に携わり、産学官金連携に精通する。
平成22年より公益財団法人長野県テクノ財団専務理事を務める。

当県産業界の得意技「ものを小さくする技術」をもって、メディカル分野への応用を促進し、5年後10年後の当県を牽引する先頭集団づくりを目指している。この内容は、今年3月策定の「長野県ものづくり産業振興戦略プラン」に織り込まれ、健康長寿県「長野」を自ら実証している産学官金が一丸となって、日本及び世界に貢献する仕組みづくりを構築していく。

地域イノベーション戦略

長野県産業の強みである超精密技術と大学等の素材技術シーズを融合した研究シーズ志向の産学官連携システムに、医療現場ニーズに応える市場ニーズ志向の製品具現化促進システムを発展させることにより、次世代産業の核となるスーパーモジュール供給拠点の形成を目指す。さらに、地域企業の優れた技術の海外企業への売込みや海外の大学・研究機関等とのネットワーク構築による国際的な展開を推進し、国際競争力のあるメディカル機器産業の集積形成を図る。

事業の内容

1. 地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積（実施機関：信州大学）

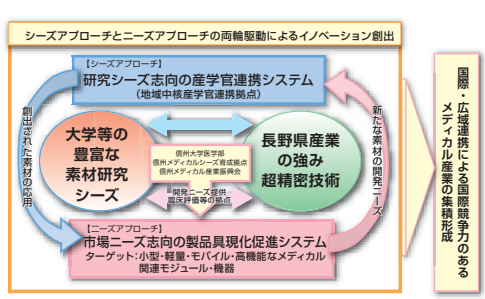
新たなメディカル関連機器の開発を目指している地域企業から若手研究者を信州大学医学部に招へいした。若手研究者は、医療現場からの医療機器等の開発ニーズに応じて、自身が所属する企業が保有する世界的に秀でた技術シーズに、地域の他の産や学が保有する技術シーズを効果的に融合し、新規メディカル関連機器及びそれに使用するスーパーモジュールの研究開発を進めた。

2. 地域イノベーション戦略実現のための人材育成プログラムの開発及び実施（実施機関：信州大学）

ものづくり企業技術者への臨床研究や治験等の基礎講習、大学等の工学系研究者や学生に対するメディカル機器の市場動向（使用現場動向）の理解度強化やレギュラトリーサイエンスの講習、医師や看護師等に対する“ものづくり意識”の強化のほか、一般県民のメディカル産業に対する理解や協力意識の向上を図るセミナーを実施した。

3. 大学等の知のネットワークの構築（実施機関：長野県テクノ財団）

8名のメディ・ネットコーディネータを配置し、プログラム全体の推進に必要なPDCA会議や外部事業評価委員会、地域内関係機関との連携整備を実施した。また、人的チャンネル構築に向け、他地域での動向把握や全世界的視野での内外情報収集活動を行い、国際的なネットワークづくりの準備を進めた。新規参入を検討している企業向けにメディカル関連情報のセミナー・勉強会等の各種普及活動を県下全域で実施したと共に、現場ニーズの発掘や医療機器メーカーへの売込手法の確立に向けたモデルケース的トライアルを実施した。

4. 地域の大学等研究機関での研究設備・機器等の共用化（実施機関：信州大学）

信州大学ヒト環境科学研究支援センター機器分析部門の既存機器と、科学技術振興機構の地域産学官共同研究拠点整備事業で導入した機器の計48機器を地域企業に広く開放するため、機器オペレーターを雇用し設備・機器の共用化を図った。